

令和4年度 第2回福祉センター運営委員会会議録（要旨）

1. 日 時 令和4年8月12日（金） 午後4時00分から午後5時15分
2. 場 所 やまなみ荘
3. 出席者 会 長：久保田敏通
委 員：藤澤幸恵、望月典子、藤原良司、太田譲、小山芳孝
曾根原ふさ子、藤原久紀
村 長：藤澤泰彦
副村長：牛越宏通
事務局：眞島弘光（所長）、小坂部元（支配人）、牛越実（料理長）

4. 協議事項

（1）やまなみ荘改築計画について

※やまなみ荘改築計画（浴室関係、おやき体験館、郷土食体験スペース、客室関係（瑞雲の間）、2階の間取り、換気、照明設備、Wi-Fi 設備設置等）について資料により説明

問：サービスヤードが狭くなるのでは。

答：荷物の搬入には支障がない。

問：サウナは村民も要望しているので良いが、そば打ち体験館の年間利用者数は少なく、おやき体験館の建設が必要なのか。

答：ソフト面でも充実を目指し、交流人口の実績は600人弱であり、おやきづくりの継承も考えている。

問：瑞雲の間の改築では、大きな部屋をどう交流増につなげていくのか。

答：合宿の対応を考えており、筑北村等と連携していきたい。

問：瑞雲の間を客室とした場合に宴会の騒音の心配があるので、図書室などの文化的な体験ができる部屋にしてはどうか。

答：防災の関係で、1階に高齢者等の客間の場合には、避難するのにベターである。

問：2階の北側客室の改築はまだ新しいので勿体ないし、機械室など木材チップを置く場所と搬入路については、劣化度調査等から構造を足すとどうなるのか。

答：改築歴等参考に業者と検討していく。

問：おやき体験館は誰が対応するのか。

答：現在のやまなみ荘のスタッフでは難しく、ソフト面も考慮して職員を育成していく。

問：全体的な経費の試算、木材チップ等の人件費などランニングコストは。

答：ゼロカーボンの取組で村の資源を活用したいが、費用対効果も考えていきながら、早めに事業費の概々算を提示する。

(2) 令和4年度6月末現在の状況について

※令和4年度（取組、予算、6月までの会計状況等）の運営について資料により説明
特になし

(3) その他

特になし

6. 閉会